

教育科目	情報リテラシーと処理技術		教育内容	情報リテラシーと処理技術		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	<p>授業の到達目標及びテーマ パソコンをはじめとする情報機器を実際に操作し、活用できる能力を身につける。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Windows の基本操作を理解する。</li> <li>2. インターネットの基本概念を理解し、活用する能力を身につける。</li> <li>3. ワードプロソフトを活用し、基本的な文書を作成する能力を身につける。</li> <li>4. 表計算ソフトを活用し、表、グラフを作成する能力を身につける。</li> <li>5. プレゼンテーションソフトを活用し、発表資料を作成する能力を身につける。</li> <li>6. ホームページの仕組みを理解し、作成する能力を身につける。</li> </ol>					
授業概要	<p>情報システムの発展、コンピュータ（ハードウェア・ソフトウェア）、情報ネットワークなどの仕組みについて理解を深める。また、演習を通じ、パソコンの基本操作、表計算ソフトの基本操作を学習することにより、これからの情報化社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を身に付ける。</p>					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期 1 回	後期 回	前期 1 回・後期 回		
	<p>評定方法：定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。</p>					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と担 当者の関り	<p>実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する</p>					
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト					

教育科目	教職論		教育内容	保育者論			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 保育の現状と課題を専門職という視点から概観する。2. 子ども観、保育観の変化を歴史から学ぶ。3. 教員養成制度について知る。4. 保育者の役割と専門性を理解する。5. 保育者の職務内容と職業倫理について理解する。6. 保育制度の動向と今後の保育者のあり方を学ぶ。						
授業概要	教職の基本的性質および特性について関係法規などを手がかりにして学び、教師としての役割や資質能力等について考察するとともに、施設および組織の職員（構成員）としての役割と責任について知る。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 1 回	後期 回	前期 1 回・後期 回			
	評定方法 定期試験にて判定 小テスト・レポートの結果を加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	発達心理学		教育内容	保育の心理学			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 発達概念、発達を規定する要因、発達のメカニズムなどについて理解する。 2. ピアジェ理論を中心にして、人間発達の諸側面を発達心理学視点から理解する。 3. 発達心理学と保育との関わりを知る。						
授業概要	発達心理学の定義および発達心理学にかかわる基本的な用語を知る。次に、人の一生にわたる発達について概観するとともに、言語機能および人間関係の発達の様子を具体的に学ぶ。また、乳幼児期については、発達理論の保育への実践的な活用法についても併せて検討する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期 1回	前期 回・後期 1回			
評定方法	定期試験のほか、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	こどもの発達と家庭支援		教育内容	子ども家庭支援の心理学			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	核家族化の進展や地域のつながりの希薄化などから、祖父母や近隣住民からの子育てに対する助言、支援、協力を得ることが困難な状況であることの解決策について、地域の一員という個人としての関わりから保育士という専門家としての関わり方を考える。子どもを取り巻く児童虐待、療育、貧困、子育て支援等について理解を深める。						
授業概要	発育発達について各発達段階に分けて学習するとともに精神的な発達についても併せて学習し、それぞれの段階に対する家族や家庭としての関わりについて、社会的な背景を踏まえながら理解を深める。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期 1 回	前期 回・後期 1 回			
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト						

教育科目	教育課程論		教育内容	保育の計画と評価			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 保育の内容の充実と質の向上に資する教育課程・保育課程について理解する。 2. 教育課程・保育課程の編成と指導計画の作成について、意義や方法を具体的に習得する。 3. 編成、実践、点検、評価、改善の過程についてその全体像を能動的にとらえ、カリキュラム・マネジメントの意義を理解する。 4. 保護者や関係機関との連携について学ぶ。						
授業概要	保育および教育を展開していくにあたり、全体的な計画から日々の指導計画を理解する。また、短期的・長期的な計画を日々の省察をし、それに基づく記録に変更や改善を加えながら柔軟に運用していく手法や課程について学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期 1 回	前期 回・後期 1 回			
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(フレーベル館) 『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館) 『保育所保育指針・解説書』(フレーベル館)						

教育科目	保育内容総論		教育内容	保育内容総論			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	保育の基礎知識を学び、保育所保育指針、幼稚園教育要領等に示されている保育の内容を総合的に理解し、様々な課題に対処できる保育者として求められる資質を養う。						
授業概要	保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容の理解から始まり、保育の基本的な考え方や多様な保育の展開について具体的な例を取り扱いながら学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評価方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果を加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(フレーベル館) 『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館) 『保育所保育指針・解説書』(フレーベル館)						

教育科目	こどもの指導法「人間関係」		教育内容	保育内容演習			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1.幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」のねらい・内容・内容の取扱い（留意事項）を理解する。 2.乳幼児期の人間関係がどのように育まれるかを学び、保育・教育の実践方法や援助方法について理解を深める。 3.実践展開に向けての構想力を育む。						
授業概要	乳幼児期の養護と教育にかかわる保育の内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）において子どもが健康で安全かつ快適に過ごすための発達の援助やかかわりを具体的に学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	回・後期	1回
	評定方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果を加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『保育内容 「人間関係」と指導法』（中央法規） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	こどもの指導法「言葉」		教育内容	保育内容演習			演習		
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期	後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位	
授業目標	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域のうち、「言葉」のねらいと内容について理解を深めると共に、「言葉」を中心に全領域の総合性について学ぶ。								
授業概要	乳幼児期の養護と教育にかかわる保育の内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）において子どもが健康で安全かつ快適に過ごすための発達の援助やかかわりを具体的に学習する。								
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期		その他（レポートなど）				
	小テスト	前期	回	後期	1 回	前期	回	後期	1 回
	評価方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果や日常の学習態度なども加味する。								
評価基準	『坪内学園教務規程』による								
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する      専門知識や資格等を有する								
使用 テキスト等	『保育内容「言葉」と指導法』中央法規 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）								

教育科目	こどもの指導法「リズム表現」		教育内容	保育内容演習			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 音楽から感じ取ったことを身体表現するという活動を通して、保育者としての表現技術を習得する。 2. 乳幼児期の音楽表現活動の具体的な指導援助の手法を学び、実践する。						
授業概要	乳幼児期の養護と教育に関わる保育の内容「表現」において子どもが健康で安全かつ快適に過ごすための援助やかかわりを具体的に学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1	回	前期	回・後期
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と 担当教員の 関わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	こどもの指導法「音楽表現」		教育内容	保育内容の理解と方法			演習
学 科 開講学年	こども総合科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 音楽表現のための基本的な能力（ソルフェージュ力、ピアノ演奏技術）を身に付ける。 2. 保育者としての実践力の一つである弾き歌いの技術を身に付ける。 3. 楽譜を読む力を身に付ける。						
授業概要	乳幼児期の養護と教育に関わる保育の内容「表現」において子どもが健康で安全かつ快適に過ごすための援助やかかわりについて、特に読譜力を身に付けながら歌う技術及びピアノ演奏技術を学習する。						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 1回・後期 回			前期 回・後期 回			
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容、定期テスト（実技）						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当 教員の関わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『幼児のための音楽教育』（教育芸術社） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	乳幼児保育 I		教育内容	乳児保育 I			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 乳幼児保育の意義・概念と歴史的変遷及び背景と制度について理解する。 2. 保育所、家庭的保育等の多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳幼児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。						
授業概要	乳児期における保育について、発育発達を踏まえた手法や関わり方、配慮について学ぶ。また、内部および外部との連携を推進していくため制度の理解、各種施設における乳児保育についても学習する。						
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト		前期 1 回	後期 回	前期 1 回・後期 回		
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	英語コミュニケーション		教育内容	英語コミュニケーション			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	<p>近頃では幼稚園や保育園に外国人の園児が入園してくることもあり、保育現場で英語を使う機会も増えている。本授業では、英語表現の基礎となる文法・構文の復習を行うとともに、保育の現場で必要な英語表現を運用できる力を身に付けることを目標とする。</p> <p>1. 英語表現の基礎となる文法・構文を運用することができる。</p> <p>2. 保育現場で使用される英語表現を身につけることができる。</p>						
授業概要	<p>授業の最初に、英語表現の基礎となる文法事項や基本構文の復習および練習を行う。その後、保育園でのさまざまな生活場면을題材にした英文や英語表現の学習を通して、保育者と子どもや保護者とのコミュニケーションに使われる英語表現や連絡事項の書き方などを学習する。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期	1 回
	<p>評定方法</p> <p>定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト						

教育科目	教育方法論		教育内容	教育方法論			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	教育方法の定義・意義・範囲などについての基礎知識を習得し、さらに教育の目標・教育的内容・評価との関係性について知る。また、教育現場における保育・教育の諸問題に対応していく具体的な教授方法や活用方法についての理解を深めることを目的とする。						
授業概要	保育・教育方法の変遷を通して、現在の幼稚園・小中学校の学級経営に関する領域までの保育・教育方法の基礎的な概念を学ぶ。さらに、教育現場の諸問題と保育・教育方法の関連性に着眼しつつ基礎的な保育・教育方法を理解する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 1 回	後期 回	前期 1 回・後期 回			
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	教育心理学		教育内容	教育心理学			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	教育の過程における心の動きを心理学的に分析、理解し、その過程を解明することによって、教育活動を効果的に進めるための知識や技術、実践方法を提供する。						
授業概要	学習や動機づけの概念や仕組み、またその評価について学び、発達の理論とともに「教えること」「育てること」に関する心理学的な考え方について理解を深める。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期	1 回
	評価方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト						

教育科目	人間関係論		教育内容	人間関係論			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<p>1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」のねらい・内容・内容の取扱い（配慮事項）を理解する。実践展開に向けての構想力を育む。</p> <p>2. 乳幼児期の人間関係がどのように育まれるかを学び、保育・教育の実践方法や援助方法について理解を深める。</p>						
授業概要	<p>社会の構成において人間関係なしに生活していくことは困難であることを踏まえ、人間関係の発達を促す保育者の関わり方について、地域社会の役割とあわせて学習する。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	1 回	前期	回・後期	回
	<p>評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	<p>(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する)</p>						
使用 テキスト等	<p>豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）</p>						

教育科目	音楽表現論		教育内容	音楽表現論			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 読譜に必要となる、音楽理論の基本を習得する。 2. 保育の意義・目的のうち、特に音楽に関わる分野について理解を深め、音楽遊びを展開するための実践力を身に付ける。						
授業概要	音楽表現技術を身に付けるために必須となる音楽理論を学ぶと共に、こどもの表現活動を支える保育者の援助について、「歌う、奏でる、作る、聞く、動く」の5つの活動を通して学習する。						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	3回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 授業の取り組み姿勢、小テスト、定期テスト						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	造形表現論		教育内容	造形表現論			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	保育の内容を踏まえ、幼児造形の指導・援助者として、造形の基本的な知識、形や色、材料、用具、表現技法等の造形の理論をもとに、手の動き・感性・造形的思考が一体となった造形活動を理解する。						
授業概要	幼児造形の指導・援助者として形や色等の造形の理論をもとに、えがく表現、つくる表現そして造形あそびの領域と技法について、また、それに伴った材料、用具の特性と利用について理解していく。さらに美術の歴史的展開の概説及び乳幼児造形教育の課題を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト		前期 1 回	後期 回	前期 1 回・後期 回		
	評定方法 定期試験、小テスト、レポート課題、受講状況などで総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	こどもの指導法「造形表現」		教育内容	こどもの指導法「造形表現」		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	幼児の造形教育の指導者として、学習の進め方・造形表現の過程・造形の分野と指導領域について学習し、平面造形・立体造形の内容について学習する。					
授業概要	表現としての造形について、発育発達に沿った造形表現の在り方、教材の選び方、言葉がけなどについて理論と実践の両面から学習する。					
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他（レポートなど）	
	小テスト		前期 1 回	後期 回	前期 1 回・後期 回	
	評定方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果を加味する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と 担当者の関 り	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）					

教育科目	表現とこどもの運動		教育内容	表現とこどもの運動			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	こども達が自分の思いや考えを他者に伝えることができるためには、多くの表現ができる環境設定が大切であることを理解し身に付ける。こども同士が、どのように工夫、表現し、仲間とよりよく関わっていくことができるかについて、年齢や環境に応じた動きや運動遊びと身体表現を通して、発達段階に沿って展開させることを学ぶ。						
授業概要	こどもの表現遊びや運動が年齢に応じて展開されていくことを理解し、表現遊び運動の実践例からイメージを膨らませ、安全に楽しく表現遊びが展開できる知識及び実践力を理論的に深める。						
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期 1 回	後期	回	前期 1 回・後期 回		
	評定方法 定期試験にて判定。小テスト・レポート・授業態度・提出物の結果を加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	保育実習指導 I		教育内容	保育実習指導 I			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 実習生としてふさわしい態度を自覚する。 2. 保育内容を総合的に理解する。 3. 保育実習 I における自己の実習課題を考え、実習に取り組めるようにする。 4. 実習を通して保育者として働く上での課題を見つける。						
授業概要	保育所保育および施設実習を通して、学内での学びを振り返りながら保育所の機能、保育士の業務内容、記録と計画、障害、発達の特性、該当者を取り巻く環境などに対する理解を深められるよう、観察の観点、実習先での所作、マナーなどについて学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 レポート・取り組みの評価にて判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	『保育者の資質・能力を育む保育所・施設・幼稚園実習指導』（福村出版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーバル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーバル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーバル館）						

教育科目	保育実習 I (実習)		教育内容	保育実習 I			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	60 コマ	単位数	4 単位
授業目標	保育所の保育について、生活や遊びの場に参加することにより乳幼児の理解を深める。現場で実習することを通して、保育者として働くことの意義や福祉施設の役割・機能や働き方を理解し、体得する。						
授業概要	保育所保育および施設実習を通して、学内での学びを振り返りながら保育所の機能、保育士の業務内容、記録と計画、障害、発達の特徴、該当者を取り巻く環境などに対する理解を深める。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 各実習先の評価・取り組みの評価と実習日誌により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等							

教育科目	こども園実践演習 I		教育内容	附属認定こども園実践演習 I		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数 2 単位
授業目標	保育及び教育の各場面を同建物内にある坪内学園附属認定こども園で実際に体験する。講義で学習した内容の実践演習として位置付けることで、課題探求及び解決力を養うとともに、就職時に即戦力となれることを目的とする。					
授業概要	現場で保育参加を行い、子どもと関わり保育職への理解をはかる。その後、日誌指導や指導案の書き方指導を行う。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	1 回・後期 1 回
	評定方法 授業の取り組み姿勢、授業での実践内容					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	適宜、資料配布					

教育科目	健康科学		教育内容	健康科学			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	13 コマ	単位数	1 単位
授業目標	食事・睡眠・運動・ストレスが心身の健康へ及ぼす影響や免疫機能と感染症、嗜好品、医薬品について学び、客観的に分析することで、自身の健康を保持増進する方法を模索するだけでなく、他者への介入手法もわかる。						
授業概要	健康づくりの第一歩は、自身の身体および精神がどのような状態にあるかを正しく理解することであり、それぞれの現状を踏まえて健康を保持増進していくための判断材料を増やしていく。本科目では、健康的な生活設計、運動の基礎理論、運動の生理、運動処方および救急法についての基礎的な知識を現代社会との関わりから考え、ヘルスプロモーションへの理解を深め、健康で豊かな生活を送る意義を理解する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	1回・後期	回
評価方法	授業態度、提出物、定期試験にて判定。小テスト・レポートの結果を加味する。						
評価基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト						

教育科目	保育・教育実習事前指導		教育内容	保育・教育実習事前事後指導			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	8 コマ	単位数	1 単位
授業目標	1. 実習生としてふさわしい態度を自覚する。 2. 保育内容を総合的に理解する。 3. 保育・教育実習における自己の実習課題を考え、実習に取り組めるようにする。 4. 実習を通して保育者として働く上での課題を見つける。						
授業概要	保育所保育、施設実習及び教育実習を通して、学内での学びを振り返りながら保育現場の機能、保育者の業務内容、記録と計画、障害、発達の特徴、該当者を取り巻く環境などに対する理解を深められるよう、観察の観点、実習先での所作、マナーなどについて学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 レポート・取り組みの評価にて判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	キャリア演習 I		教育内容	キャリア演習 I			演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>履歴書の書き方(自己分析・企業分析含む)理解</li> <li>就職活動に必要な知識・マナーの習得</li> <li>採用試験に向けた面接の基本を習得</li> <li>就職活動早期取り組みへの意識付け</li> <li>職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。</li> <li>社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。</li> </ol>						
授業概要	履歴書指導により自己分析を行い、合同企業・法人ガイダンスにより企業分析及び就職活動への意識を向ける。また、ガイダンスに向けた身だしなみ、就職活動に必要な基礎知識を身に着ける。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	自主作成プリント等						

教育科目	福祉・社会 I		教育内容	新入生研修 I・地域研究・企画マネジメント I・総合体育・式典出席		演習
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	21 コマ	単位数 2 単位
授業目標	<p>マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。</p> <p>日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かす。</p> <p>活動を通じ、チームワークの大切さを理解する。</p>					
授業概要	新入生研修 I・地域研究・企画マネジメント I・総合体育・式典出席					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	評価方法 レポート等及び活動の取り組み評価により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等						

教育科目	スポーツ（実技）		教育内容	スポーツ（実技）			実技
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	各種スポーツの実践および運営の経験を通して、生涯にわたってスポーツに触れ合うことで、健康を保持増進していくことができるようにする。						
授業概要	生涯にわたって運動やスポーツを自ら実践することができる能力を身に付けるため、各種目に関する講義も適宜行い、健康と安全に留意しながら個人的・集团的スポーツを楽しむことができる作戦の立て方や審判の仕方、競技運営方法を学ぶ。ニュースポーツを含む各種のスポーツを仲間とともに技能面の到達を図りながら楽しむことができ、自己の体力・健康の保持増進を図ることができる。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 1 回		
評定方法	実技小テスト・実技・口頭試問にて判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	適宜・配布						

教育科目	保育原理		教育内容	保育原理			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 保育の意義と目的を理解する。 2. 子どもの成長・発達の様子を知り、保育という営みを理解する。 3. 保育内容・保育方法の基本を学び保育者としての役割を理解する。 4. 保育者としての専門性を高めるために必要な基礎的な諸知識を習得する。 5. 保育の現状と課題を知る。						
授業概要	保育の意義や目的を理解し、保育に関する法令、制度、歴史を知る。次に、保育所保育の基本である養護と教育についての基礎的な知識を学び保育の内容を理解する。最後に、保育をめぐる現代的諸課題について考える。						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 回・後期 1回			前期 1 回・後期 回			
	評定方法 : 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果や日常の学習態度なども加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーベル館）						

教育科目	教育原理		教育内容	教育原理			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期 後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 諸外国の教育の思想や歴史と我が国の教育制度や歴史について理解する。 2. 学校教育に関する社会的、制度的事項や歴史的課題を知る。 3. 地域との連携並びに学校安全に関する知識と理解を深める。 4. 「子どもの発達」の姿や「子どもの権利」について理解する。						
授業概要	教育の意義と目的を理解し、教育の思想と歴史について概観する。続いて、子ども期に育てておくべき姿を視野に入れた教育の方法原理について学ぶ。最後に、国内外の教育制度や法令について知り、現代的な教育課題と今後の教育の在り方について考える。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期 1 回	後期 回	前期 1 回・後期 回			
	評定方法 定期試験のほか、小テスト、レポート、受講態度なども含めて総合的に評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担当者の関わり	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーバル館） 『幼稚園教育要領解説』（フレーバル館） 『保育所保育指針・解説書』（フレーバル館）						

教育科目	こども家庭福祉		教育内容	子ども家庭福祉		講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数 2 単位
授業目標	1. 児童/家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉需要について理解する。 2. 児童/家庭福祉制度の発展過程について理解する。 3. 児童の権利について理解する。 4. 児童/家庭福祉制度や児童/家庭福祉にかかわる他の法制度について理解する。					
授業概要	多様化する家庭の課題やニーズに関する背景および解決策について、地域の一員という個人としての関わりだけでなく、保育士という専門家としての関わり方を考える。また、各種施設・団体との連携の意義目的についても学び、組織的に課題に取り組む態度を育てる。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 回・後期 1 回	
	評定方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果や日常の学習態度なども加味する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト					

教育科目	社会福祉論		教育内容	社会福祉			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 現代社会における社会福祉制度の意義や理念、社会福祉政策との関係について理解を深める。 2. 欧米及び日本の社会福祉の形成過程をたどり社会福祉とは何かを理解する。 3. 社会福祉の実施方法とその原理について学ぶ。 4. 社会福祉政策の構成要素/関連政策/相談援助活動の関係について理解する。						
授業概要	社会福祉の歴史的変遷をもとに現代社会における社会福祉の意義を理解するとともに社会福祉制度に関わる体系的な理解と障がい者施策などの社会福祉の動向と課題について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト 前期 後期			その他（レポートなど）			
	小テスト 前期 1回・後期 回			前期 1回・後期 回			
	評定方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果や日常の学習態度なども加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト						

教育科目	社会的養護 I		教育内容	社会的養護 I			講義
学 科 開講学年	こども総合学科 1年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. 社会的養護の理解 2. 児童福祉施設での児童養護の実際について学ぶ 3. 里親制度・養子縁組について学ぶ 4. 施設保育士としての専門性を学ぶ						
授業概要	虐待相談件数が増加している中で、社会的養護を要する子どもの未来を育むための自立支援が求められている。子どもの人権をいかに擁護しながら専門職等が連携して支援していくのかについて、歴史・制度・実施体系等を踏まえながら、現状と課題を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	1回・後期	回	前期	1回・後期	回
	評定方法 定期試験の結果で評価する。小テスト・レポートの結果や日常の学習態度なども加味する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
教科科目と担 当者の関り	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	豊岡短期大学テキスト						